



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月8日

上場会社名 立川ブラインド工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 7989 URL <https://www.blind.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)池崎 久也
問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)小野 寿也 (TEL) 03(5484)6142
四半期報告書提出予定日 2024年5月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	10,273	△4.0	1,381	△8.2	1,411	△12.1	942	△11.1
2023年12月期第1四半期	10,698	△0.9	1,504	△8.6	1,606	△4.3	1,059	△1.0

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 1,414百万円(24.7%) 2023年12月期第1四半期 1,134百万円(△3.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年12月期第1四半期	円 銭 50.91	円 銭 —
2023年12月期第1四半期	55.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年12月期第1四半期	百万円 63,741	百万円 51,227	% 73.4
2023年12月期	63,142	50,442	72.9

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 46,787百万円 2023年12月期 46,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	円 銭 —	円 銭 12.00	円 銭 —	円 銭 24.00	円 銭 36.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	14.00	—	27.00	41.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,650	1.2	2,010	△5.6	2,100	△8.9	1,370	△7.6	74.20
通期	42,800	3.6	4,180	3.3	4,360	0.8	2,760	1.9	149.49

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期 1 Q	20,763,600株	2023年12月期	20,763,600株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	2,300,667株	2023年12月期	2,188,321株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期 1 Q	18,509,226株	2023年12月期 1 Q	19,089,171株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなか、景気は緩やかな回復基調となった一方、不安定な国際情勢や、日米の金利差等を主因とした円安の長期化等に伴う原材料価格、エネルギー価格の高止まり、物流や建設業界の2024年問題等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループ関連の建設・住宅業界は、住宅の新設着工戸数が戸建を中心に伸び悩んでおり、長期的に見ても世帯数の減少や住宅の長寿命化等により年々減少傾向にある等、厳しい環境となっております。

このような環境の下、当社グループは、2023年12月期から2025年12月期までの中期経営計画「タチカワビジョン2025～継続と進化～」の実現に向けて、今後も安定した収益を確保できる事業体制の構築や、建築物内外の生活環境の改善による社会貢献を継続しながら、「ものづくりとマーケティング」「経営基盤の強化」「サステナビリティへの取り組み」に注力し、時代のニーズに応じて進化させてまいります。

当期の室内外装品関連事業においては、生活様式や働き方が大きく変化する中、多様化するニーズに応じた、より安心・安全で快適な住空間づくりを目指し、顧客満足度の高い製品の開発等に注力したほか、高付加価値製品の訴求による新規マーケットの開拓にも注力してまいりました。技術面においては、新技術や新素材、新製法を活用した研究開発拠点として、2024年9月の竣工を目指し、技術研究棟の建設を進めております。

駐車場装置関連事業においては、くし歯式の強みを活かした営業展開により新規開拓に取り組むとともに、既設物件に対する計画的な改修提案や付加価値提案の推進による受注の獲得と、高騰する原価管理を徹底することで、収益の獲得に努めてまいりました。

減速機関連事業においては、顧客ニーズに応えた個別製品の開発による提案営業を進め、新規顧客獲得に注力するとともに、原価高騰の影響下においても、生産体制の改善等により収益獲得に努めてまいりました。なお、1月1日付で事業譲受したサーボモータ事業については、1月から生産体制を整備し、新規顧客開拓とあわせ販売活動を開始致しました。

サステナビリティへの取り組みについては、サステナビリティ基本方針を踏まえ特定したマテリアリティに対し、CO2排出量削減等の課題解決に向け、アクションプランを実行に移し、目標達成に向けた取り組みを推進しております。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は10,273百万円（前年同期比4.0%減）、営業利益は1,381百万円（前年同期比8.2%減）、経常利益は1,411百万円（前年同期比12.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は942百万円（前年同期比11.1%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

[室内外装品関連事業]

「安心・安全・快適・環境・健康」をキーワードに、多様化するニーズを的確に捉えた製品開発に努めると共に、新たな需要喚起による市場開拓、新製品の早期市場浸透を進めてまいりました。

2月には、調光ができるファブリック製品の需要の高まりに対応するため、タテ型ブラインドのスタイリッシュさと、カーテンのやさしい雰囲気とを併せ持ち、採光と眺望を自由にコントロールできる調光タテ型ブラインド「エアレ」を発売し、当社の強みである製品バリエーションを更に拡大させ、プロダクトミックス提案の強化を図っております。

以上の結果、売上高は9,025百万円（前年同期比0.6%減）となり、営業利益につきましては、コスト低減活動等の収益改善に努めましたが、1,366百万円（前年同期比3.1%減）となりました。

[駐車場装置関連事業]

既存納入物件に対する付加価値提案による改修や保守の受注獲得に努めましたが、主力の「パズルタワー」の新築工事が減少したことにより、売上高は580百万円(前年同期比13.1%減)となりました。営業利益につきましては、原価低減活動に努めたことにより、25百万円(前年同期は5百万円)となりました。

[減速機関連事業]

産業用機械需要に弱さがみられる中、定番製品に加え、各種産業用減速機の受注が低調に推移したことにより、売上高は667百万円(前年同期比29.8%減)となりました。営業損益につきましては、経費節減等に取り組みましたが、原材料価格の高止まりや売上高の減少により、11百万円の損失(前年同期は87百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は63,741百万円で、前連結会計年度末と比較し599百万円の増加となりました。

(資産)

流動資産は38,951百万円で、前連結会計年度末と比較し159百万円の減少となりました。これは主に、電子記録債権、棚卸資産が増加した一方で、現金及び預金が減少したことによるものであります。

固定資産は24,789百万円で、前連結会計年度末と比較し758百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産の取得による増加や、株価上昇に伴う投資有価証券の増加によるものであります。

(負債)

負債は12,513百万円で、前連結会計年度末と比較し185百万円の減少となりました。これは主に、賞与引当金が増加した一方で、未払金、未払法人税等が減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は51,227百万円で、前連結会計年度末と比較し784百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は73.4%と、前連結会計年度末と比較し、0.5ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点において2024年2月6日に公表しました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,462,818	14,943,983
受取手形、売掛金及び契約資産	9,136,733	8,847,829
電子記録債権	6,976,485	7,123,494
商品及び製品	791,935	892,124
仕掛品	1,621,465	1,671,326
未成工事支出金	18,359	26,699
原材料及び貯蔵品	4,645,549	5,185,165
その他	536,868	338,665
貸倒引当金	△79,641	△77,819
流動資産合計	39,110,573	38,951,469
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,524,063	16,517,771
減価償却累計額	△10,362,137	△10,436,940
建物及び構築物（純額）	6,161,926	6,080,831
土地	8,606,178	8,603,334
その他	17,996,579	18,379,209
減価償却累計額	△14,984,262	△15,126,717
その他（純額）	3,012,317	3,252,491
有形固定資産合計	17,780,421	17,936,658
無形固定資産		
投資その他の資産	305,266	398,425
投資有価証券	3,340,814	3,985,654
退職給付に係る資産	558,702	563,363
その他	2,150,169	2,009,775
貸倒引当金	△103,707	△104,036
投資その他の資産合計	5,945,979	6,454,756
固定資産合計	24,031,667	24,789,840
資産合計	63,142,241	63,741,310

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,470,740	2,871,464
電子記録債務	3,384,781	3,335,997
未払金	1,319,294	1,148,828
未払法人税等	941,379	577,101
賞与引当金	227,128	672,718
役員賞与引当金	63,282	16,535
製品保証引当金	19,425	17,048
工事損失引当金	22,597	15,762
その他	1,514,513	1,078,321
流動負債合計	9,963,143	9,733,776
固定負債		
役員退職慰労引当金	427,897	432,172
退職給付に係る負債	2,217,264	2,245,205
その他	91,165	102,509
固定負債合計	2,736,326	2,779,887
負債合計	12,699,469	12,513,663
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,580,829	4,580,829
利益剰余金	38,019,861	38,516,343
自己株式	△1,805,212	△1,969,151
株主資本合計	45,270,478	45,603,022
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	677,627	1,092,782
繰延ヘッジ損益	△1,576	-
為替換算調整勘定	84,737	98,858
退職給付に係る調整累計額	△11,523	△7,513
その他の包括利益累計額合計	749,265	1,184,127
非支配株主持分	4,423,027	4,440,497
純資産合計	50,442,771	51,227,647
負債純資産合計	63,142,241	63,741,310

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)
売上高	10,698,128	10,273,435
売上原価	6,189,728	5,893,300
売上総利益	4,508,400	4,380,135
販売費及び一般管理費	3,004,058	2,998,945
営業利益	1,504,342	1,381,189
営業外収益		
受取利息	838	799
受取配当金	1,738	1,726
不動産賃貸料	9,215	9,278
受取保険金	74,995	665
保険配当金	2,312	8,389
為替差益	5,381	7,022
その他	11,419	6,522
営業外収益合計	105,900	34,405
営業外費用		
支払利息	1	1
不動産賃貸原価	1,909	1,891
自己株式取得費用	1,097	818
その他	596	1,036
営業外費用合計	3,604	3,747
経常利益	1,606,637	1,411,848
特別利益		
固定資産売却益	-	2,938
受取補償金	33,500	-
特別利益合計	33,500	2,938
特別損失		
固定資産除却損	168	0
特別損失合計	168	0
税金等調整前四半期純利益	1,639,968	1,414,786
法人税、住民税及び事業税	630,995	518,896
法人税等調整額	△86,646	△50,649
法人税等合計	544,348	468,247
四半期純利益	1,095,619	946,539
非支配株主に帰属する四半期純利益	35,980	4,250
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,059,639	942,289

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	1,095,619	946,539
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,145	448,089
繰延ヘッジ損益	8,721	1,576
為替換算調整勘定	4,541	14,120
退職給付に係る調整額	4,082	3,966
その他の包括利益合計	38,491	467,753
四半期包括利益	1,134,111	1,414,293
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,104,621	1,377,151
非支配株主に係る四半期包括利益	29,490	37,141

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	9,079,369	668,114	950,644	10,698,128	—	10,698,128
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	23,397	23,397	△23,397	—
計	9,079,369	668,114	974,042	10,721,526	△23,397	10,698,128
セグメント利益	1,410,837	5,542	87,962	1,504,342	—	1,504,342

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	9,025,738	580,292	667,405	10,273,435	—	10,273,435
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	14,478	14,478	△14,478	—
計	9,025,738	580,292	681,884	10,287,914	△14,478	10,273,435
セグメント利益又は 損失(△)	1,366,601	25,898	△11,310	1,381,189	—	1,381,189

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。